

データでみる 東日本大震災への取り組み

ヤフーでは、東日本大震災の発生から緊急災害支援や復興支援活動など様々な取り組みを行っています。

東北へ支援した金額や東北を応援した人数など実績をまとめました。

また、2012年7月に復興支援事業の拠点となる「ヤフー石巻復興ベース（現：石巻ベース）」を開所し、社員3名以上が常駐して東北の復興支援事業を行ってきました。

ヤフーが石巻に拠点を置いたことによって与えた影響をまとめました。 >

東北への支援金額

72億7000万円

東北を応援した人数

3400万人

東北への支援先・協働組織数

620団体

災害・緊急対応の広がり

東北を応援した組織

350団体

東北外へ広がった金額

54億円

本ページにある各データはケイスリー社提供の元、作成されています。データ精査・提供:©2021 K-three Inc.

東北への支援金額

ヤフーでは東日本大震災の発生後、Yahoo!ネット募金やチャリティーオークション、復興デパートメントなどサービスを通じた支援を行ってきました。



※1 これ以外にYahoo! JAPANが理事として参画したReborn Art Fesは3,618,000,000円の事業収益をあげた

※2 グラフの数字は百万円以下を四捨五入

※3 復興デパートメント、東北エールマーケット、エールマーケットはツールの関係上、売り上げ金額に多少の差異があります

※4 チャリティーオークションは東日本大復興支援特集と3.11企画の東北支援から抽出

※5 フィッシャーマン・ジャパンはヤフー主体で始まったものとして算入

関連リンク

[Yahoo!ネット募金](#) >

[エールマーケット](#) >

[ヤフオク!「チャリティーオークション」](#) >

[フィッシャーマン・ジャパン \(外部サイト\)](#) 

[ツール・ド・東北](#) >

[Yahoo!基金](#) >

東北を応援した人々

「3.11企画 検索は応援になる」やYahoo!ネット募金、ツール・ド・東北など、Yahoo! JAPANサービスやヤフーが主催・共催するイベントを通じて多くのユーザーの皆さまにも参加いただきました。

東北を応援した人々

3400 万人

3.11 企画
検索は応援になる
3100 万人 ※1

Yahoo! ネット募金 寄付人数 186 万人

ツール・ド・東北 27,170 人 ※2

その他 27,056 人 ※3

※1 2014年～2020年の検索数のべ人数

※2 2013年～2019年度の参加ライダーとボランティアの合算値

※3 フィッシャーマン・ジャパン関連の数値を算入

関連リンク

3.11企画 [いま、わたしができること](#) >

東北への支援先・協働組織数

ヤフーでは、Yahoo!ネット募金やチャリティーオークション、3.11企画などを通じて様々な東北のNPO団体等に支援を行ってきました。また、事業やイベントを通じて他企業との協業も多く行っています。

東北への支援先・協働組織数

620 団体

単位・組織数

ヤフーのサービス
を通じた支援先
(385 団体)

※1

Yahoo! 基金 155

3.11 検索 92

Yahoo! ネット募金 91

チャリティーオークション 47

ヤフーのサービス
での協働先
(235 団体)

※2、3、4

ツール・ド・東北 118

フィッシャーマン・ジャパン 69

エールマーケット 48

※1 Yahoo!基金、Yahoo!ネット募金、3.11検索、チャリティーオークションはのべ団体数を算入

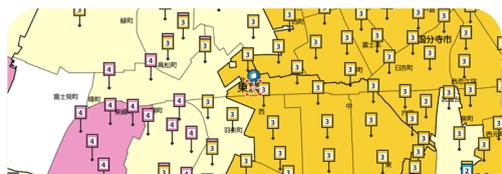
※2 ツール・ド・東北は、主催・共催・協力等の団体について算入。ただし同一事業内では、複数年・回にわたって協力している場合も重複算入せず1団体として算入

※3 TRITON Project は水産業担い手育成事業における漁業就業者数、TRITON BASE は漁業従事者の累計入居者数を事業主体と見做して算入

※4 エールマーケットに掲載しているストア数は時期により変動があるため10年間の累計ではなく、2021年3月3日時点でエールマーケットに掲載している東北のストア数を掲出しています

緊急災害対応の広がり

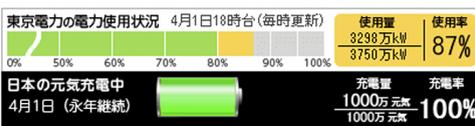
東日本大震災発生後、ユーザーの皆様に必要な情報を届けられるよう、様々なページやサービスを立ち上げました。



停電マップ

3億PV

※停電マップは公開1日の3000万PVという情報に、サービス開始後から実施された東電管内での計画停電日数である10日分を乗じて算出



電気予報

1億8000万PV

※電気メーターは公開後の1000万PVを超すという情報に、サービス開始から東電管内での当面の電力需給が改善したと発表されるまでの日数である18日分を乗じて算出



Yahoo!防災速報アプリ

利用者数2000万人



ソーシャル防災訓練、
全国統一防災模試

4,112,472人

※全国統一防災模試は、2018年から2019年にかけて実施した地震や水害に関する模試3回の延べ模試参加者数を算入。



災害協定

締結済み自治体数

1,240以上

人口カバー率

92%以上

(2021年2月末現在)



SEMA

259,428人

※救援物資総数を受領人数と見做し算入

関連リンク

[Yahoo!防災速報アプリ](#) >

[ヤフー防災模試](#) >

[SEMA](#) >

[災害協定](#) >

石巻での広がり

2012年7月に復興支援事業の拠点となる「ヤフー石巻復興ベース（現：石巻ベース）」を開所し、社員3名以上が常駐して東北の復興支援事業を行ってきました。

石巻市やその他の東北地方の方にアンケートを取り、ヤフーが石巻に拠点を置いたことによって与えた影響をまとめました。

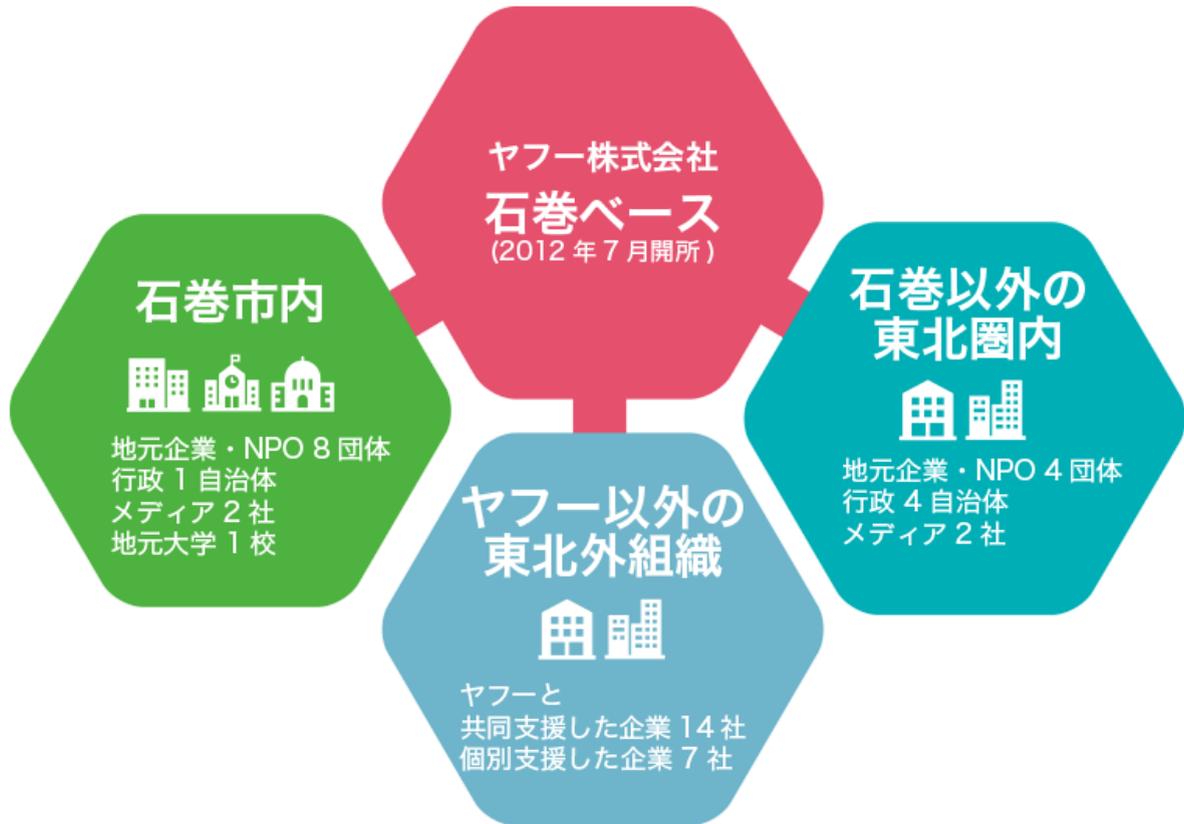
東北圏内の関係のあった組織

130団体

東北圏外の関係のあった組織

94団体

ヤフーの石巻事業に関する関係者・関係組織



ヤフーの拠点があった事により事業の「発展 / 維持継続」している割合

震災復興支援に関するサービス等を利用したことがある割合



石巻市内・市外の方からの声

made in 石巻の商品を多くの人に届けたいという気持ちを叶えてくれたのはヤフーさんと石巻に寄り添ってくれたメンバーのお陰です。



ヤフー石巻事業に関わる皆様、一区切りだと思いましたが本当にお疲れさまでした。震災後石巻という被災地でヤフーという大企業が先陣を切ってベースを作り、様々な取り組みを立ち上げてきたことは、地元だけでなく日本全国の多くの人に勇気やつながり、地方の可能性を生み出されました。



ヤフーの方々との関わりで、今までの水産業界では考えつかない様な事や、未来に向けての思考、意識の変化など、石巻に変革するきっかけを築いてくれた存在です。



大災害の苦難の時期に「動いた」という事実が、多くの人に勇気を与え、数字では測れない社会に影響を与えたと思います。



※アンケートのフリーコメントから一部抜粋して掲載しています

関連リンク

石巻に拠点を置いて9年、東北の未来にどう貢献できたのか「ステークホルダーダイアログ2021」（Zホールディングスサイトへ）



ヤフーの復興支援活動の社内への影響

ヤフーでは、事業を通じて緊急災害対応や復興支援活動を行うほか、社内ボランティアとしてツール・ド・東北のイベントなどに参加する従業員も多くいます。社内で任意のアンケートを取り、復興支援活動がヤフー社内へどのように影響したかまとめました。

東日本大震災の復興支援事業の認知度

90%

復興支援事業への関心度合い

関わったことがある36%

関わりたい84%

復興事業に対するイメージ（どう思うか）

誇れる活動88%

ヤフー東日本大震災の復興支援事業はヤフーらしい事業だと思うか

ヤフーらしい事業99%

ヤフー東日本大震災の復興支援事業はヤフーにとって重要なものだと思うか

重要な事業97%

復興支援事業によって自身に影響はあったか（回答総数256名）

関係部署への異動希望（のきっかけ）につながった

13名

ヤフーへの転職や就職（のきっかけ）につながった

24名

従業員の声

10年前、自分は東北在住で就活中で、ちょうど六本木でヤフーの説明会に出ている時に東日本大震災が発生しました。インターネット企業の中でもいち早く復興支援を行っていたヤフーを見て、運よくご縁もあったので入社を決めました。あの時からずっと復興支援を続けているということを一社員として誇りに思います。



個人で石巻アンテナショップのボランティアスタッフなども9年ほど続けていましたが、自分の会社が責任を持って復興事業に取り組んでいるという事実が、社外での活動のモチベーションアップにつながったり、実際にお仕事に繋がったりするなどしまして、課外活動に対して良い影響となりました。



※アンケートのフリーコメントから一部抜粋して掲載しています

関連リンク

震災から10年、日本を災害大国から「防災大国」へ「ステークホルダーダイアログ2021」（Zホールディングスサイトへ） [📄](#)

震災を決して忘れない～復興に取り組む人を応援することで見えたこと～ [➤](#)

[東日本大震災におけるヤフーの取り組み ➤](#)